

# 平成 27 年度第 1 回 横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会

日時：平成 27 年 7 月 21 日（火）午後 2 時半～4 時半  
場所：横浜市健康福祉総合センター 8 階 8 A・B 会議室

## ■ 次 第 ■

- 1 開 会 14:30～
  - (1) 地域福祉保健部長あいさつ
  - (2) 委員交代について
  
- 2 報 告 14:45～

第 3 期区地域福祉保健計画の策定状況について <資料 1-1、1-2>
  
- 3 議 事 15:05～

幅広い市民に向けた地域福祉保健計画の P R について <資料 2、3>
  
- 3 その他報告 16:15～
  - (1) よこはま地域福祉フォーラムの開催について <資料 4>
  - (2) 平成 27 年度 第 3 期横浜市地域福祉保健計画 関連事業取組予定スケジュールについて <資料 5>
  
- 4 閉 会 16:30～

市社協事務局長あいさつ

---

### <委員会配付資料一覧>

- 平成 27 年度第 1 回横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会 次第
  - 横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会 委員名簿、事務局名簿 ※
  - 第 3 期区地域福祉保健計画 策定状況について <資料 1-1>
  - 地域福祉保健計画に関連する各区の状況 <資料 1-2>
  - 健康キャラバン事業「つながり de 健康づくり」について <資料 2>
  - 幅広い市民に向けた地域福祉保健計画の P R <資料 3>
  - よこはま地域福祉フォーラム関連資料 <資料 4>
  - 平成 27 年度 第 3 期横浜市地域福祉保健計画 関連事業取組予定スケジュール <資料 5>
- ※当日配付資料

# 横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会委員名簿

【任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日】

H27.7.1（敬称略）

	委員名	所 属	分 野
1	石塚 淳 イヅカ ジュン	横浜市桂台地域ケアプラザ（栄区） 所長	地域ケアプラザ
2	井上 彰 イノウエ アキラ	横浜市身体障害者団体連合会 理事	障害分野関係者
3	植木 美子 ウエキ ミコ	市民公募委員	市民委員
4	内海 宏 ウチノミ ヒロシ	地域計画研究所 所長	地域まちづくり関係者
5	工藤 廣雄 クドウ ヒロオ	社会福祉法人神奈川県匡済会 横浜市生活自立支援施設はまかぜ 施設長	社会福祉協議会 （市社会福祉協議会理事）
6	小宮山 滋 コミヤマ シゲル	横浜市民生委員児童委員協議会 理事	民生委員児童委員協議会
7	佐伯 美華 サエキ ミカ	幸ヶ谷小学校 学校・地域コーディネーター	学校・地域連携関係者
8	坂田 信子 サカタ ノブコ	横浜市心身障害児者を守る会連盟 事務局長	障害分野関係者
9	菅原 恵美子 スガハラ エミコ	市民公募委員	市民委員
10	竹谷 康生 タケヤ ヤスオ	栄区シニアクラブ連合会 会長	高齢分野関係者
11	田高 悦子 タカガ エツコ	横浜国立大学大学院医学研究科地域看護学 教授	学識経験者（保健）
12	中野 しずよ ナカノ シズヨ	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま 理事長	NPO・市民活動団体等 中間支援組織
13	名和田 是彦 ナワタ シノブ	法政大学法学部 教授	学識経験者 （コミュニティ）
14	西尾 敦史 ニシオ アツシ	静岡福祉大学社会福祉学部 教授	学識経験者（福祉）
15	平本 成子 ヒラモト ナリコ	横浜市保健活動推進員会 旭区鶴ヶ峰地区会長	保健活動推進員
16	増田 英明 マシダ ヒデアキ	一般社団法人横浜市医師会 常任理事	医師会
17	森本 佳樹 モリモト ヨシキ	立教大学コミュニティ福祉学部 教授	学識経験者（福祉）
18	山崎 滋 ヤマサキ シゲル	保土ヶ谷区連合町内会自治会 会長／ 保土ヶ谷区社会福祉協議会 会長	自治会町内会関係／ 区社会福祉協議会
19	山田 美智子 ヤマダ ミチコ	西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート 施設長	子育て分野関係者
20	米岡 美智枝 ヨネオカ ミチエ	西区第四地区社会福祉協議会 会長	社会福祉協議会 （地区社会福祉協議会）



区名	取組内容	26年度											27年度																				
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月								
中区	策定・推進会議、策定・推進検討部会	第1回 (今年度の進め方、グループインタビューの実施等)					検討部会：随時					第2回 (計画策定の考え方、各地区ごとの策定方法等)					第1回 (区計画検討、地区別計画策定状況報告等)			第1回健康づくり部会			第2回健康づくり部会			第2回 (区計画・地区別計画案報告)			第3回 (計画最終案確認)				
	地区別懇談会・地区別計画策定推進会議	中間振り返り結果に基づいた活動を支援。定期的な会議の場の維持を支援。第3期計画策定の意識づけ。地区別計画の策定方法検討。											各地区の状況に応じた地区別計画策定											地区別計画(案)集約			区全域計画 地区別計画 確定						
	区計画策定推進												区全域計画(案)集約																				
	データ収集・課題分析	内容検討、団体へ協力依頼。		分野別グループインタビュー実施					結果分析 (必要に応じて、追加インタビュー) ・区全域計画検討。																								
	区民意見の聴取・広報	通信発行		通信発行			通信発行			通信発行			通信発行			通信発行			意見募集			通信発行											
	フォーラム・発表会												中なかいいネ！発表会														中なかいいネ！発表会						
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	転入者向け 中なかいいネ！研修		地域支援担当向け実務研修					振り返り・次年度検討				転入者向け 中なかいいネ！研修		地域支援担当向け実務研修		“まち”を知らう！研修 研修(地域支援チームの中で実施)			振り返り・次年度検討													
力を入れる取組等																																	
南区	策定・推進検討会(みなみの福祉保健を考える懇談会)						委員の検討			委員依頼			会議開催																				
	地区別懇談会・地区別計画策定推進						意見交換会実施方法の検討			意見交換会実施に向けた調整																							
	区計画策定推進	関係者ヒアリング、アンケート項目の検討		関係者ヒアリング(テーマ別部会)・対象事業所選定、アンケート用紙印刷			関係者アンケート		意見取りまとめ及び課題抽出			計画 骨子 確定																					
	区民意見の聴取・広報	区民アンケート内容検討		対象者抽出・アンケート用紙等印刷			区民アンケート		意見取りまとめ及び課題抽出			16地区での意見交換(振り返り会議) 地区別計画策定プロジェクト会議 ふれあい懇談会(16地区) 素案完成																					
	データ収集・課題分析			業者委託			データ収集		課題分析		報告書			(毎月1回)計画事務局会議 区役所内、関係団体へ策定依頼 計画素案作成(区役所、区社協、CP及び関係団体) 計画素案集約 計画素案完成																			
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	研修実施													研修実施		・広報南区版 ・南なんデー(健康福祉まつり) ・区民意見募集・広報南区版 区連会説明 ・民児協説明・広報南区版 テーマ別部会																
港南区	地域福祉保健計画推進協議会	●推進協議会(7/17)											●推進協議会(3/19) ●推進協議会(5/28) ●推進協議会(7/9) ●推進協議会(9/10) ●推進協議会 ●推進協議会																				
	地区別懇談会・地区別計画策定推進	第2期振り返り・課題抽出 第3期計画策定の企画					●地区別計画推進研究会(11/4)					地区別計画の検討、意見交換会等における議論、計画確定(～12月)																					
	区計画策定推進	区計画の検討					区計画案検討											区民意見募集			最終とりまとめ			計画 完成									
	データ収集・課題分析	ヒアリング等調査企画、統計データの収集・整理					ヒアリング等調査実施					↑27年度 区計画策定スケジュールを確定(4月)																					
	区民意見の聴取・広報	●計画推進ニュース発行					●計画推進ニュース発行					●計画推進ニュース発行					●計画推進ニュース発行					●計画推進ニュース発行											
	フォーラム・発表会												●元気な地域づくり推進フォーラム(3/14)																●元気な地域づくりフォーラム				
	港南区地域支援合同研修(区、社協、ケアプラザ職員等)	●合同オリエンテーション(5/16)					●合同研修(9/3, 9)					※毎月 地区担当者会議にて、地区別計画策定の情報共有 ※毎月 ケアプラザコーディネーターとの計画策定意見交換・情報共有																					
力を入れる取組等	計画策定のための企画		策定作業の本格開始 地区別計画策定プロセスの確定			地区別計画策定の本格開始			区民・関係団体等意見反映			意見交換会等の企画・実施			区計画素案とりまとめ 地区別意見交換会等の実施			地区別意見交換会等の実施			第3期計画案の最終確認												



区名	取組内容	26年度											27年度																
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月				
金沢区	策定・推進検討会 (地域福祉保健推進会議、地域福祉保健計画推進委員会)			●推進委員会(6/16) 2期評価と3期策定方法検討	●推進会議(7/28)																								
	地区別懇談会・地区別計画策定推進 (地区推進連絡会)	●地区推進連絡会 理想像の共有と課題出し											●地区別計画検討部会…取組事項検討、素案(案)作成 ●地区推進連絡会…素案(案)検討																
	区計画策定推進、計画の全体調整 (地域福祉保健推進プロジェクト、作業部会)	●作業部会(5/14) ●推進プロジェクト(5/29)… 2期評価と3期策定方法検討													●作業部会(月1回)…課題整理、優先順位・重点取組・評価方法、区域での取組事項の検討		●作業部会(10/7) ●推進プロジェクト(10/21)…理念、基本目標の検討		●推進プロジェクト(3/9)…区域計画骨子(案)検討 ●推進プロジェクト(7月30日) 地区計画・区計画全体調整 2期評価、3期素案検討 ●区域計画各課ヒアリング(具体的取組事項の検討)										
	(地区社協事務局長会議、地域支援チームリーダー会議)	●サブリーダー説明会(4/22、25)											●サブリーダー説明会(4月21日・22日)																
	データ収集・課題分析(地区データ集) *主:地域力推進担当	地域力推進担当及び委託業者との調整、データ提供											委託業者による分析																
	区民意見の聴取・広報	意識調査(8/6~22) グループインタビュー(7/23、30、9/4、5、17)											●広報(3月号)特集																
	フォーラム・発表会												●福祉保健のつどい(2/28)																
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	●地域支援チーム職員説明会(6/4、5、12)											●地域力向上研修(地区データ集読み方、ファンリナーンションスキル)(10/3、15、16、11/10)																
力を入れる取組等												都市マスタープラン区プラン改定作業との足並みをそろえた第3期計画策定																	
港北区	策定・推進検討会(○策定・推進委員会、●検討部会)												○																
	地区別懇談会・地区別計画策定推進	地区計画作成・配布											策定に向けた協議 地区別計画策定ガイドライン作成(事務局) チーム別会議																
	区計画策定推進												地区計画作成・配布																
	データ収集・課題分析	現計画評価											データ分析・地区データ集作成																
	区民意見の聴取・広報	【取組紹介】広よこにコラム掲載(隔月、5回)、港北力発見通信(年3回)											区広報特集 港北力発見通信(年3回)																
	フォーラム	区民フォーラム											区民フォーラム																
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	職員研修											転入者向け研修 職員(区、区社協、CP)向け研修																
力を入れる取組等	地域課題の把握と分析											策定・推進に向けた地域の体制づくり																	
緑区	策定・推進検討会(みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会)●推進状況報告書の作成	①開催(6/13)											②開催(11/11)																
	地区別計画推進策定委員会 ●『3か年まとめ』を使った振り返りとまとめ、今後に向けた課題出し	①開催 ・チームリーダー会議①(4/22) ・代表者連絡会①(4/23) 振り返り											②開催 (地区の実情に合わせて随時開催/ 各委員会開催後に委員会通信を発行) 課題出し ・チームリーダー会議②(9/17) ・代表者連絡会②(10/2)																
	区計画策定推進	区政運営方針に基づき推進(重点事業として位置付け) ・庁内各課・職種別ヒアリング ・既存統計データ分析											③開催(3/25) 素案たたき台作成 素案作成 ④開催(6/29) 素案完成 素案作成 ・チームリーダー会議(4/22)④開催 ・代表者連絡会(4/30) 委員会通信を発行																
	データ収集・課題分析 ●『区民アンケート』による福祉保健の意識と地域福祉保健計画の認知度把握	・業者契約(7月) ・プレ実施(7月) ・アンケート確定(7月) ・クロス表確定(10月) ・対象者抽出(セレクト)(7月) 発送 回収 問い合わせ対応											・速報まとめ(10月) ・検定表確定 区・地区への速報報告 統計検定・分析 課題分析 報告書作成・発行																
	区民意見の聴取・広報 ●『分野別・団体別インタビュー』による活動団体等の現状とニーズの把握	広報区版(コラム・特集) ・インタビュー実施 ・インタビュー項目作成 ・団体等の抽出・依頼 シート完成											・広報2月号特集記事 アンケート結果、作成・発行 ・インタビューの実施 区役所各課・専門職ヒアリング インタビュー結果の整理、分析																
	フォーラム・発表会												活動発表会(2/20)																
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	・地区支援チーム新任研修(4/16)											区域研修(10/29・30)																
	力を入れる取組等	・地区別計画推進事業(調整・立案・執行)											・各種補助事業等の活用支援																

区名	取組内容	26年度											27年度										
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
青葉区	地域福祉保健推進会議	○ 第3期策定 指針報告											○ 素案 確定										
	地域福祉保健計画 策定委員会	○											○										
	区計画の見直し・策定 (区計画策定プロジェクト)	○											○										
	地区別計画の見直し・策定 (地区別計画推進会議)	← 各地区別計画振りかえり 今後に向けた地域ニーズ確認 →											← 各地区別計画の目標・取組内容の見直し(※26年度中から実施) 第3期地区別計画策定 →										
	区民意見の聴取	○ 区民意識 調査											← 地区意見交換会(ワークショップ) → 障がい当事者 障がい当事者・PTA										
	地区サポートチーム	研修 → チーム会議① → ファシリテーション研修 チーム会議② → 意見交換会の開催 全体会 → チーム会議③ 全体会											リーダー・サ ブリーダー 会議 → チーム会議① 地区別計画案の検討① → 研修 → チーム会議② 地区別計画案の検討② → チーム会議③ 地区別計画の推進につ いて → リーダー・サブ リーダー会議										
	広報	事例発表会											← 素案配布 →										
都筑区	福祉保健計画推進委員会	○											○										
	第2期「地区別計画」の推進	← 地域懇談会の開催・活動支援 →											← 地域懇談会の振り返り → ○地域情報交換会										
	第2期「区計画」の推進	←											←										
	情報発信	○情報紙の発行											○情報紙の発行 ○広報の発行(2月、3月) ○情報紙の発行 ○フォーラム開催										
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	○											○										
	第3期計画策定準備・推進	← 区民アンケート(H25年実施)結果のまとめ、地域基礎データの把握と整理、分析 →											← 区・区社協・CPからなるプロジェクトチーム設置 ○骨子案とりまとめ → プロジェクトチームで検討 地域懇談会の開催 ○素案とりまとめ 意見公募										
	力を入れる取組等	← 区・区社協・CPでの地域情報共有 →											← 第2期計画の振り返り、 第3期計画に向けての 地域との話し合い → 第3期計画に向けての「地区別計画」推進会議の確認										
戸塚区	推進委員会	第1回											第1回										
	地区別懇談会・地区別計画策定推進	地区別計画策定エリア変更の調整											新たに第3期地区別計画策定エリアごとに地域連携チームを結成し、地域の実情に応じた計画策定を行う。										
	区計画策定推進	第2回											第2回										
	データ収集・課題分析	第3期地区別計画策定エリアごとに、関係機関等で地域分析、課題抽出											地区別分析資料集印刷										
	区民意見の聴取・広報	区民意識調査											都市計画マスタープラン から意見聴取 広報よこはま 戸塚区版 広報よこはま 戸塚区版										
	フォーラム・発表会	集計											エリアごとに広く意見を取り入れながら策 素案 意見公募 計画決定 広報										
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	CW会議 ミニ研修 区域研修											情報交換会 研修 地域連携 チーム向け 研修 地域連携 チーム向け 研修 地域連携チ ーム向け 研修										
	力を入れる取組等	第3期地区別計画策定エリアごとに、関係機関等で地域分析、課題抽出											地域連携チームへの支援										

区名	取組内容	26年度												27年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
栄区	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">会議</div> 推進会議 (策定・推進検討会)	①7/17 年間予定、区民アンケート・活動者個人意識調査結果報告 ②11/27 部会検討内容報告、地区状況報告 ③3/5 報告												第1回 第2回 第3回											
	推進部会 (作業部会)	①9/4 2期振り返り ②11/7 課題抽出 ③12/19 取組内容 ④1/15 骨子内容																							
	区計画策定推進	計画・骨子・素案 作成に向けた 準備・検討 (区域計画・地区別計画振り返りからの課題抽出 など)												論点案 → 論点作成・構成検討 → 論点 → 案作成 → 案発表 → 公表											
	データ収集・課題分析	各種アンケートの分析・まとめ (25年度実施) ・区民アンケート ・活動者個人意識調査 ・活動団体取組内容アンケート 市内各課ヒアリング												市内各課ヒアリング 社協関係ヒアリング 各課と議論											
	地区別計画策定推進	【ステップ1】 2期振り返り(取組内容と目標に対する到達度) 【ステップ2】 3期に向けた課題抽出 【ステップ3】 3期取り組み内容検討 【ステップ4】 地域住民への説明												論点案 → 作成 → 論点 → 作成 → 骨子 → 公表											
	区民意見の聴取・広報	●広よこ												●広よこ											
	力を入れる取組等	地区支援チームの体制強化(リーダー・サブリーダー会議の開催)												地区支援チーム会議の定例開催											
	職員(区社協・CP含む)向け研修・周知	●市内向け広報誌発行(地域力と共同)												●リーダー・サブリーダー会議											
泉区	区計画(2期振り返り)	区計画振り返り												区振り返り(案)作成 → 区振り返り確定											
	区計画(3期策定)	区計画骨子策定検討												区骨子(案)作成 → 区骨子確定 → 区計画(案)作成 → 指標作成 → 区計画(案)確定 → 区計画完成 → 冊子発行											
	地区別計画(2期振り返り・3期策定)	地区別計画2期振り返り・3期策定												地区別計画2期振り返り・3期(案)確定 → 地区別計画完成											
	泉区地域福祉保健計画推進協議会	開催①												開催②											
	3期計画策定分科会(推進協議会分科会)	委員選定												分科会の開催											
	12地区での意見交換会	意見交換会												区民意見募集											
	区民意識調査(とりまとめは区政推進課)	質問項目作成												調査 → 素集計 → まとめ											
	推進イベント													広報2月号特集 → 推進イベント → 活動発表会3期説明											
	地域支援チーム連絡会(区・区社協・ケアプラザ)	連絡会①												連絡会②											
	地域支援チーム向け研修													研修											
瀬谷区	全域計画策定・推進(策定懇談会・推進懇談会)	推進懇談会 6/12												策定懇談会(第1回) 9/25 → 策定懇談会(第2回) 11/6 → 策定懇談会(第3回) 1/29 → 策定懇談会(第4回) 3/5 → 策定懇談会(第5回) 6/25 → 策定懇談会(第6回) 10/1 → 策定懇談会(第7回) 12/17											
	地区別計画推進(懇談会・研修会)	研修会 6/26												懇談会 7/9 → 懇談会 11/20											
	データ収集・課題分析													団体ヒアリング											
	区民意見の聴取・広報													広報(シンポジウム)											
	地域福祉保健計画推進シンポジウム													シンポジウム(取組発表) 11/15											
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	地区支援担当者等全体研修												地区支援担当者等全体研修											





# 1 「つながりde健康づくり」とは?

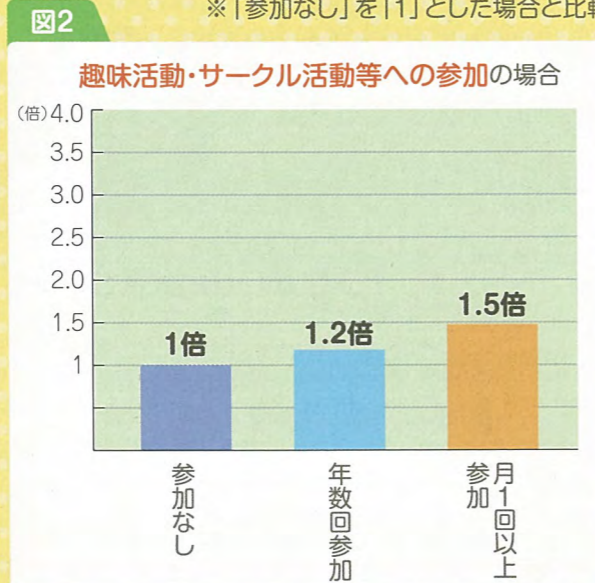
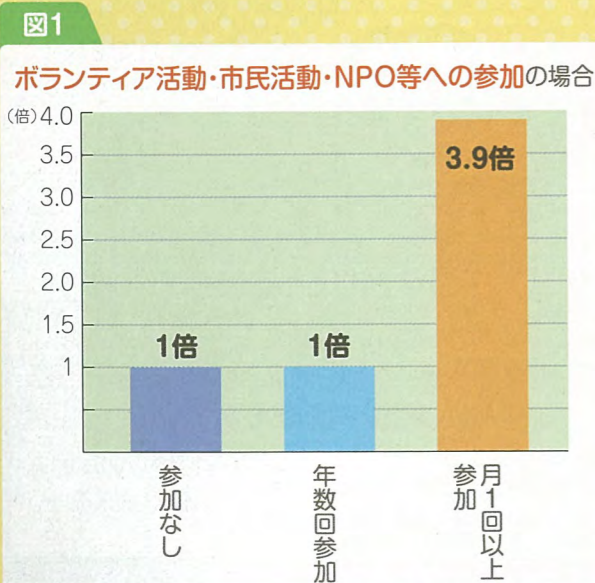
適度な運動やバランスの取れた食事、禁煙などに加えて、地域との交流や様々な活動への参加など、積極的に「つながり」をつくることで、心身の健康に効果があると言われており、いきいきと元気に過ごすための秘訣です。

- 人と人との「つながり」が強く、お互いに助け合う風潮がある地域は、そうでない地域に比べて、健康でかつ医療費が少ないことや、「自分は健康だ」と思える程度（主観的健康感）が高いと言われています。
- 趣味やボランティア活動などの社会活動に積極的に参加している人は、していない人に比べて健康で自立した生活を長く続けられるという結果が出ています。（図1、2）

## 社会活動等への参加は元気の秘訣!

社会活動等に積極的に参加している人ほど、4年後も健康で自立した生活を維持できていた。

※「参加なし」を「1」とした場合と比較



出典：東京都健康長寿医療センター研究所 高齢者の社会活動等への参加による4年後の生活機能維持に関する調査（首都圏A市）（2008-2012年）

月1回以上の参加で4年後も元気な生活を続けていた人が **3.9倍**多い!

趣味やサークルに月1回参加するだけでも、**1.5倍**の効果があるのね。



### <参考> ~人と人との「つながり」~ソーシャル・キャピタル~



人と人との「つながり」を意味する「ソーシャル・キャピタル」という言葉があります。「お互いさま」「地域の力」「住民の底力」ともあらわされ、「ソーシャル・キャピタル」が健康に良い影響を与えることが、様々な研究で報告されています。

さあ、取り組もう!!

# つながりde健康づくり



健康づくりには、一人ひとりが自らの生活習慣の改善に取り組むことが大切ですが、それに加えて、人と人との「つながり」をつくることも、重要であることがわかってきました。

## 「つながりde健康づくり」あなたはどのタイプ?

**「つながり」が多い**

地域の活動には出るようにしているのよ。やりがいがあるし、自分も元気になるの。食事にも気を付けてます。

**A 「つながりde健康づくり」タイプ**

- 趣味やサークルの活動、地域の活動などに参加し、交流の機会がある。
- 運動や食生活などに気を付け、身体に良い活動をしている。

**「つながり」が少ない**

手芸の講座に通ってます。気の合う人とおしゃべりで、つついお菓子を食べ過ぎちゃうわね。

**B 「つながりde健康もう一步」タイプ**

- 趣味やサークルの活動、地域の活動などに参加し、交流の機会がある。
- 運動や食生活にはあまり気を付けていない。身体に良い活動はやっても長続きしない。

**「ひとりde健康づくり」タイプ**

健康には気をつけて、一人でウォーキングをしています。退職して時間ができたので、何かはじめてみようかな。

**C 「ひとりde健康づくり」タイプ**

- 趣味やサークルの活動、地域の活動などには参加していない。
- 運動や食生活などに気を付け、身体に良い活動をしている。
- 友人や同僚、近所とのつきあいがあまり多くない。

**「家deゴロゴロ」タイプ**

平日は仕事で忙しいし、休みの日くらい家でゆっくりしたいよ。健康も気になるけどね。メタボ気味...

**D 「家deゴロゴロ」タイプ**

- 趣味やサークルの活動、地域の活動などには参加していない。
- 運動や食生活に気を付けるなど、身体に良い活動はやっても長続きしない。
- 友人や同僚、近所とのつきあいがあまり多くない。

身体に良い生活を送ろう

身体に良い生活を送ろう

# ★これならできる!つながりde健康づくり

## A 「つながりde健康づくり」タイプ

## B 「つながりde健康もう一步」タイプ

- 今参加している活動を続けること自体が健康づくりです。
- 活動に参加しているメンバーとの交流を大事にすることで、みんなで元気に活動を続けることができます。
- 参加者同士で話すことが多くなると、健康や生活についての耳よりの情報が得られやすくなります。

「つながり」を生かして、さらに健康づくりに取り組もう!

### A 「つながりde健康づくり」タイプ

- あなたの周りにも「つながり」のきっかけを探している人がいるかもしれません。友人や知り合いを活動に誘ってみましょう。
- チラシを作って広報したり、クチコミでPRして、まわりの人にも活動を広めていきましょう。

### B 「つながりde健康もう一步」タイプ

- 活動の中で健康について話してみましょう。
- 身体に良いことを活動のプログラムに取り入れると、参加者の健康度が上がり、活動自体が長続きます。

「つながりde健康づくり」を広めるキーパーソンね!

## C 「ひとりde健康づくり」タイプ

## D 「家deゴロゴロ」タイプ

- 「つながり」をつくることで、健康や地域の情報が得られやすく自身の健康づくりにもつながります。
- 職場での付き合いや友人・知人との付き合いなども大切な「つながり」のひとつです。

「つながり」をつくることから始めよう!

まずは、あなたのまちの情報をチェック!

活動や講座の情報は身近なところから!

- ★ 区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザ、地区センター、各区の市民活動支援センター、自治会・町内会など
- ★ 広報よこはま、お住まいのまちの掲示板・回覧板、インターネットなど

### C 「ひとりde健康づくり」タイプ

- 身近なところで行っている講座やイベントに参加してみると、同じ趣味を持つ人や、話が合う人に出会うかもしれません。
- ひとりでやるより、誰かと一緒に行くと、活動が長続きして、さらに健康づくりの効果がアップ!

### D 「家deゴロゴロ」タイプ

- まずは、気分転換に外に出かけてみましょう。
- ちょっとした交流から「つながり」が生まれ、活動の機会が広がっていきます。
- 友人と久しぶりに会ってみたり、職場の集まりに参加してみましょう。

このタイプの人を周りにいたら、声をかけて誘ってみよう!

## Bタイプ ▶ 「つながり」を生かした健康づくり



## Cタイプ ▶ 「つながり」ができるとさらに健康

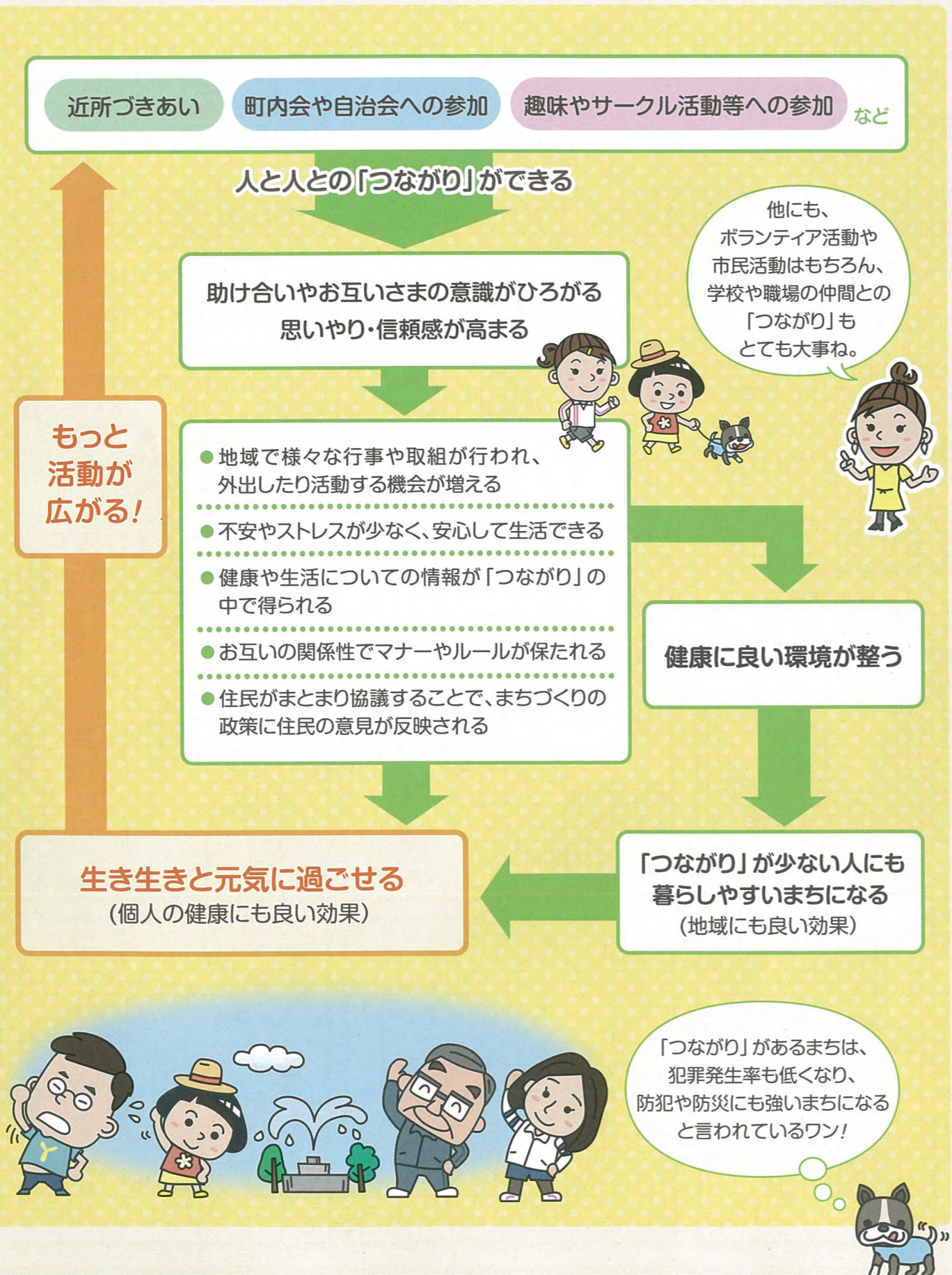


## Dタイプ ▶ まずは「つながり」づくりから



## 「つながり」は個人も地域も健康にします!

一人ひとりが「つながり」をつくることで個人の健康が保たれるとともに、健康で暮らしやすい地域になり、住んでいる人全体にも良い影響があります。



## 活動のリーダーの方へ

続けるのはけっこう大変!

### 活動が長続きするためのヒント

地域活動やボランティア活動、市民活動などは、住民同士のつながりを深め、健康の維持・向上につながる大切な活動です。活動を長続きさせることが、参加者自身の健康づくりや、暮らしやすいまちづくりにつながります。

#### ヒント1 活動への参加の仕方は十人十色

- それぞれのペースで活動をする
- 無理をしない



#### ヒント2 マンネリを打破して、楽しく活動!

- 他に活動している人やグループなどとも交流を図る
- 新しいプログラムにもチャレンジする

#### ヒント3 “仲間”づくりを心がけよう!

- 参加者同士が話しやすいように、名札をつける、積極的に声をかける
- ゆるやかな一体感を出すために、皆で楽しめるゲームを取り入れる
- 活動以外にも連絡をとりあう機会をつくる

#### ヒント4 新しい参加者の発掘を!

- 新しい参加者を入れて活動を活性化!
- 人からの紹介(クチコミ)が参加のカギ。きっかけは「誘われて」が一番多い!
- 広報誌などで活動をPR

## ボランティア活動による「つながり」の効果

～「りぷりんとフレンズ・あおば(青葉区)」シニア・読み聞かせボランティアの取組例より～

りぷりんとボランティアグループは、絵本や読み聞かせ方法について3か月間の講座で学んだあと、ボランティアとして読み聞かせを行っています。各地で活動していますが、横浜では青葉区で平成24年に発足し、保育園、幼稚園等での定期的な読み聞かせやイベント等で活動しています。

絵本の読み聞かせを通じて、ボランティア自身の健康への効果や、読み聞かせ対象の子どもだけでなく、保護者や教職員への効果など、地域にも効果が広がっています。

### ボランティアの声

子どもや子育て世代との交流で、気持ちが元気になるります。



活動を通じて、出歩く機会が増えました。

### 読み聞かせボランティア活動による地域への効果

#### 子どもへの効果



- 活字・文字離れ予防
- 集中力
- シニアへの尊敬・感謝
- 教師、保護者以外の第三者の介在

#### 保護者への効果



- シニアへの尊敬・感謝
- PTAの負担軽減
- 地域の見守りの一助

#### 教職員への効果



- 開かれた学校のモデル
- 重層的な地域との連携モデル

「つながり」は自分の健康だけでなく、相手や地域にも良い効果があるのね!

柱3-1-1 幅広い市民に向けた地域福祉保健計画のPR

1 今までの検討経過について

(1) 検討経過

平成24年度地域保健福祉計画策定・推進委員会の中で、第3期横浜市地域福祉保健計画の策定に向けて「幅広い市民参加により地域福祉保健の取組を広げるための検討会」を設置し検討を行いました。その検討会の中で「担い手不足」「後継者不足」と言われる現状を改善するための「幅広い市民参加」のあり方等について検討を行いました。

課題意識	検討結果（要旨、主な意見）など
<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域のつながりの大切さ」等への理解を広く深く浸透させていくために、市レベルで取り組む啓発・PRをどのように考えるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の広報の取組と、「地域のつながりの大切さ」等の啓発・PRについては、様々な対象層を意識し働きかけを行う。</li> <li>誰もが必ず聞く機会を得るような啓発の場を用意する仕組みが有効である。</li> </ul>

【参考】第3期横浜市地域福祉保健計画 抜粋

柱3-1-1 幅広い市民に向けた地域福祉保健計画のPR

計画期間<平成26~30年度>で目指す姿

- あらゆる世代・あらゆる市民がつながりを意識し、地域福祉保健に関心を持つことができる取組が増えている

第3期市計画での取組

- 市民の関心を高めるため、幅広い市民に向けたPR方法を検討し、実施します。

市	市社協
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報よこはま市版でのPR、市域イベントでの周知など</li> <li>○ <u>誰もが必ず聞く機会を得るような啓発の仕組みをつくるため、PRする対象層を想定した、対象層別の啓発・PR方法の検討・実施</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市域イベント、広報紙、インターネット上の動画やDVDなど視聴覚媒体等を活用</li> <li>○ 計画推進の過程において取組事例等を収集、紹介、広報</li> <li>○ <u>PRする対象層を想定した、対象層別の啓発・PR方法の検討・実施</u></li> </ul>
区域（区・区社協・地域ケアプラザ）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ シンポジウム、講演会等で幅広い区民に向けたPRの機会をつくる</li> <li>○ 地区別計画について、地域と行政の協働による地域主体の計画であるという趣旨を広めるため、周知・理解を推進する</li> </ul>	

<平成26年度に実施した取組>

- 横浜市地域福祉保健計画の普及啓発動画（地域向け）作成
- 策定・推進委員会委員から事例を収集し、区地域福祉保健計画推進のための地域活動参考事例集を作成
- つながり de 健康づくりのリーフレットの作成、周知
- 市域イベントでの計画の周知

## (2) 今までの普及啓発の実施状況

資料3

地域福祉保健計画のPRについて、市、区、社協等で表1の通り実施してきました。

【表1：PRの取組について】

対象層	現在の地域福祉保健内容の取組の周知方法	
	地域	区域
小中学生	・福祉教育 等	・小中学校向けパンフレットの作成、配布
高・大学生	・福祉教育 等	・ボランティア体験学習
子育て世代 (20～30代)	・子ども関係の施策の中で計画のPR 等	・子ども関係の施策の中での計画のPR 等
40～50代		
60歳以上	・自治会・町内会等での計画のPR 等	・自治会・町内会等での計画のPR 等
全体向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別計画の推進報告のため、地区ごとの通信の発行</li> <li>・地区イベントでの周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報よこはま区版への記事の掲載</li> <li>・区計画推進に向けたシンポジウム、活動発表会等の開催</li> <li>・区計画、地区別計画のパンフレット等の作成</li> <li>・区内で行われる会議（連合・自治会）での説明</li> </ul>
<b>市域</b>		
市民向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期市地域福祉保健計画策定のPR（市連会、市民児協、小中学校校長会、障害者団体等）での説明</li> <li>・市ホームページの掲載</li> <li>・福祉よこはま（市社協広報誌）への掲載</li> <li>・「ようこそ横浜」（ラジオ放送）、各種講演会でのちらい配付</li> <li>・つながり de 健康づくりのパンフレットの配布 など</li> </ul>	
関係者向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所・区社協・地域ケアプラザ向けに「第3期横浜市地域福祉保健計画 講演会」を実施</li> <li>・広報よこはまに掲載されている、各区の地域保健福祉に関する記事のまとめ及び各区への周知（区向け） など</li> </ul>	

## &lt;現状からみた課題&gt;

- ・対象層別のPRについてはこれまでも実施してきたが、取組の薄い層がある。その世代に向けて、市域、区域の役割分担を考え、取組を進めていく必要がある。

## 2 今回の検討事項について

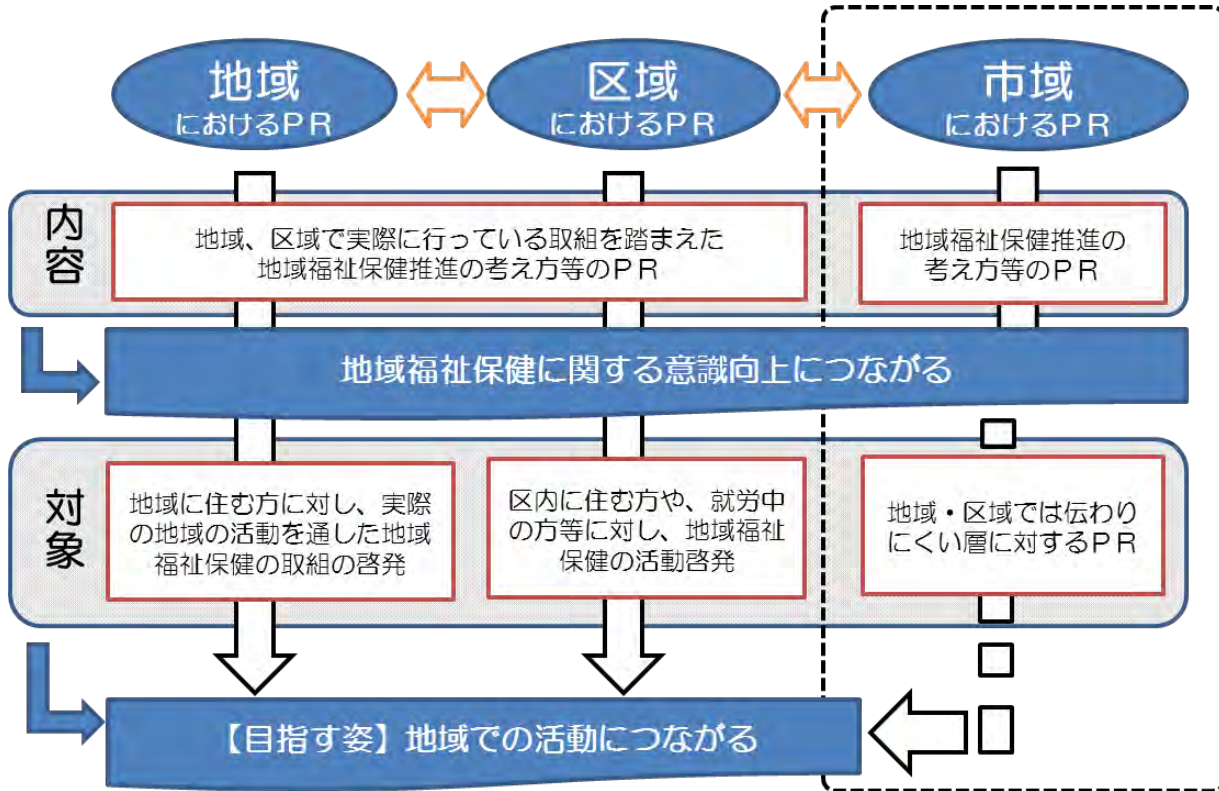
### 検討事項

- (1) 地域福祉保健計画の周知の考え方について
- (2) 周知がより必要なターゲットの考え方とPRの方向性について

#### (1) 地域福祉保健計画の周知の考え方について

区域・市域でのPRについては、以下のように整理します。

【表2：地域・区域・市域のPRのイメージ（案）】



【表3：PRの役割分担について（案）】

	区域・地域	市域
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の目指すものや、地域福祉保健計画に関する取組、地域での支えあい、つながりの大切さ等を知ってもらい、地域福祉保健に関する意識向上に繋げる（平成 27、28 年）</li> <li>地域に住んでいる方に対し、区内・地区で実施している取組を踏まえて地域福祉保健活動を PR し、実際の活動につなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区域・地域の周知では伝わりにくい層に対して、地域での支えあい、つながりの大切さ等について周知し、地域福祉保健に関する意識向上に繋げる。</li> </ul>
手法(例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉教育など、学校単位での啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の制度等を通じた啓発</li> <li>市域でのイベント等を活用した啓発</li> </ul>

## (2) 周知がより必要なターゲットの考え方とPRの方向性について

現在、取組が薄い「40～50代」をターゲットと考え、その中でもさらに対象を絞り「50代後半」をより周知が必要な対象と考えます。

理由	効果
<u>40～50代</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・就労等で地域活動には、今は参加していないが将来的には、地域における担い手として活動してもらうことが想定できる。</li><li>・今まで、PRの機会が少ない</li></ul> <u>50代後半</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・退職等が近く、将来の担い手になることが想定される。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域福祉保健やつながりづくりを意識してもらい、将来的には、地域における取組の担い手になってもらうことができる。</li></ul>

【表4：市域における「50代後半」に向けた具体的なPR内容（案）について】

<事前に検討をお願いいたします>

**問い①：地域・所属団体等における40～50代（特に50代後半）への周知状況・取組で思い浮かぶものを考えてみてください。**

**問い②：目指す姿に向けてどんな取り組みが必要になると考えますか。**

**計画期間<平成26～30年度>で目指す姿**

- ・あらゆる世代・あらゆる市民がつながりを意識し、地域福祉保健に関心を持つことができる取組が増えている





## 第 1 回 よこはま地域福祉フォーラムについて

### 1 目的

少子高齢化が急速に進む中、それぞれの暮らしや働き方にも変化があらわれ、社会的孤立や生活困窮・格差の拡大など、新たな課題が生じています。

このような背景を受け、平成 27 年度に生活困窮者自立支援制度や介護保険法改正による地域支援事業など、地域社会との連携のもとに生活課題に対応していく諸制度が動き出したことで、地域福祉、特に身近な地域の支えあい活動への関心が一層高まってきています。

横浜市では平成 16 年度から横浜市地域福祉保健計画を推進し、区・地区別計画とあわせて重層的に住民主体による福祉のまちづくりを進めてきました。さらに本会では、従来の地域支援に加えて、平成 25 年度から「身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業」に重点的に取り組み、制度だけでは対応が難しい個別の課題を捉え、地域での支援に結びつけていく仕組みづくりを進めています。

こうした歩みのなかで、市内の各地域では住民相互の支えあい活動が着実に育まれていますが、その活動は‘普段の暮らしの中’で進められていることから、周りからは見えにくい側面もあります。今回、身近な地域の支えあい活動に注目し、その活動や支援者の想いを市内外に広く伝え、更なる地域活動につなげていくことを目的として「よこはま地域福祉フォーラム」を開催します。

### 2 主催

横浜市社会福祉協議会 横浜市内 18 区社会福祉協議会

### 3 共催（予定）

横浜市

### 4 協力（予定）

神奈川県社会福祉協議会、川崎市社会福祉協議会、相模原市社会福祉協議会  
市民セクターよこはま、よこはま福祉保健カレッジ参加機関 等

### 5 日時

平成 27 年 12 月 11 日（金） 午前 9 時 45 分から午後 4 時まで

### 6 会場

横浜市市民文化会館 関内ホール 横浜市中区住吉町 4-42-1  
横浜市健康福祉総合センター 横浜市中区桜木町 1-1

### 7 参加対象

- (1) 横浜市民のみなさま
- (2) 地区社会福祉協議会など地域福祉活動団体・関係機関のみなさま
- (3) 社会福祉施設職員・地域ケアプラザ職員
- (4) 市・区役所職員、市・区社協職員 等

### 8 定員

1, 000 名程度

### 9 問合せ先

横浜市社会福祉協議会 企画部 企画課 申込制（10 月を予定）

## 10 スケジュール

### 午前の部：全体会

時間	内容	場所
9:15～9:45	受付	関内ホール
9:45～10:00	開会 主催者挨拶	
10:00～11:00	<b>【基調講演】</b> ◆新しい地域福祉のかたち ～社会保障制度の変遷と横浜型福祉社会の未来像～ (仮題) 講師：中央大学法学部 宮本太郎 教授	
11:15～12:15	<b>【シンポジウム】</b> ◆横浜だからできる“支えあいのまちづくり” ～みんなの一步が地域を変える～ (仮題) ○コーディネーター 中央大学法学部 宮本太郎 教授 ○シンポジスト (調整中) ・地域活動者 ・横浜市職員 ・横浜市社協職員	

～休憩・移動等～

### 午前の部：分科会（開始時刻が分科会により異なります）

時間	内容	場所
13:30～16:00	<b>【分科会 1】</b> お互いさまで縁づくり① ～地域活動団体の実践とネットワークづくり～	関内ホール
	<b>【分科会 2】</b> お互いさまで縁づくり② ～身近な地域の支えあいと地域ケアプラザの実践～	
14:00～16:00	<b>【分科会 3】</b> 住民参加による権利擁護の取組 ～横浜生活あんしんセンター15年の歩み～	健康福祉 総合センター
	<b>【分科会 4】</b> 地域への貢献～社会福祉法人の役割～ ～実践事例から社会福祉法人の地域貢献を考える～	
	<b>【分科会 5】</b> 地域を支える専門職の質の向上 ～ウィリング横浜の研究団体発表～	
	<b>【分科会 6】</b> NPO 等テーマ型市民活動団体の取組 ～様々な活動団体が支える地域福祉を考える～	

※分科会の表題はすべて仮題

第1回

(案)



ほら、  
よこはまは  
あったかい

# よこはま 地域福祉 フォーラム

私たちの暮らすまちでは、近隣での小さな支えあい活動がさまざまに行われており、その積み重ねが、日々の安心につながっています。

少し視野を広げてみると、少子高齢化や雇用形態の変化などが背景となり、誰もが少しのきっかけで生活するうえでの課題を抱えやすい状況があります。

いま誰かが感じている生活のしづらさは、実は「私の」「みんなの」困りごとになりえるかもしれません。そんな「誰か」の存在に気づき、差し伸べられる手が増えることで、横浜は今以上に「あったかい」まちになるはずです。

「おかげさま」「お世話さま」「おたがいさま」という気持ちが交わり、支えあえる地域であり続けるために何ができるのか、一緒に考えていきませんか？

平成 27 年

12月11日(金)

参加  
無料

10:00~16:00

## 会場

〔午前〕 関内ホール

(横浜市中区住吉町 4-42-1)

〔午後〕 関内ホール

横浜市健康福祉総合センター

(横浜市中区桜木町 1-1)

## 内容

〔午前〕 基調講演

◆新しい地域福祉のかたち

～社会保障制度の変遷と

横浜型福祉社会の未来像～(仮題)

中央大学法学部 宮本太郎 教授

シンポジウム

◆横浜だからできる“支えあいのまちづくり”

～みんなの一步が地域を変える～(仮題)

〔午後〕 分科会(テーマ案)

- ・ お互いさまで縁づくり ～身近な地域の支えあい～
- ・ 住民参加による権利擁護の取組 ～15年の歩み～
- ・ 地域への貢献 ～社会福祉法人の役割～
- ・ 地域を支える専門職のスキルアップ
- ・ 地域ケアプラザの実践

ほか

## 定員

約 1,000 名

主催：社会福祉法人

横浜市社会福祉協議会

横浜市 18 区社会福祉協議会

※詳細は、企画部企画課 までお問合せください。

(TEL 045-201-2090/FAX 045-201-8385)

平成27年度 第3期横浜市地域福祉保健計画 関連事業取組予定スケジュール

		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
策定・推進委員会、計画検討会		市 市社協				委員会①				計画検討会				委員会②	
市・市社協関係会議		市 市社協	市と市社協の定例会	◆庁内検討PJ(市)	◇経営改善推進本部(市社協)				◇経営改善推進本部(市社協)						
推進の柱1 「地域住民が主役となり地域課題に取り組むための基盤をつくる」における取組		市 市社協	市・区計画策定・推進、各種研修実施 / 市・区計画策定・推進状況等の情報提供 / 管理職会、担当者会議等での情報交換実施												
①各区・地区別計画策定・推進		市 市社協	★区計画策定支援 ◆区計画担当者新任研修(市)		◇区社協計画担当者会議①(市社協)	◆区担当者会議①(市) ◆区責任職研修(市) ◇区社協計画地区担当者研修(市社協)	◆地域支援研修①(市)(福祉保健分野別)		研究発表会(事例報告) ◇区社協計画担当者会議②(市社協)	◆地域支援研修②(市)(福祉保健分野別)	◆区担当者会議②(市)			◇区社協計画担当者会議③(市社協)	
②重点的支援が必要な地区への支援		市	地域の見守りネットワーク構築支援事業等の推進												
推進の柱2 「支援を必要とする人が的確に支援へつながる仕組みをつくる」における取組		市 市社協	区主催研修への研修講師派遣 / 市域・区域での様々な事業を活用した普及啓発の実施												
①健康キャラバン事業		市	各区へのリーフレット配布				研修会(地域ケアプラザ・区社協・区民活動支援センター等)		研修会(区職員)						
②身近な地域のつながり・支え合い活動推進事業(柱2-2-1)		市社協	各区社協による実践		区社協担当者会議①		地域支援研修①(市社協身近事業 事例)※全区		事例検討	事例検討				区社協担当者会議③	
③地域の生活課題を把握・調整・解決する仕組みづくり(柱2-2-2)		市	地域ケア会議/自立支援協議会/虐待防止ネットワーク/子育て支援ネットワーク等における地域課題を区域、市域につなげていく仕組みづくりを検討												
④地域ケアプラザの機能と人材を生かすための環境づくり(柱2-2-5)		市 市社協	地域ケアプラザ地域交流コーディネーターの人材育成ビジョン策定のための検討												
⑤地域福祉保健人材の育成(柱2-2-6)		市	学識経験者との調整	研修企画・新たな研修プログラムの検討		区への周知		研修実施			研修の評価			次年度に向けた研修企画	
⑥権利擁護の取組(権利擁護、市民後見人養成・活動支援事業、法人後見)(柱2-3)		市 市社協	第2期市民後見人養成課程(実務編)				市民後見人バンク登録者(1期・2期養成課程修了者)及び市民後見人活動支援(相談支援、成年後見サポートネット、合同研修会、定期面談、自主勉強会運営支援等)							市民後見に関するシンポジウム開催	
①幅広い福祉教育(啓発)の実施(柱3-1-4、3-1-5、3-2-1)		市社協	教育委員会との調整を随時実施		支援機関職員及び教職員に対する研修会等での活用方法の提案			活用による実践						各区取組事例の集約検証・見直し	
②高齢者の意欲と能力が発揮できる場と出番づくり(地域におけるシニアパワー発揮推進事業等)(柱3-3-2)		市 市社協	モデル区での取組実施(介入調査)	啓発・養成講座の情報収集と発信(本会HP、就労支援スポット等の活用)		シニア大学でのボランティア講座実施							次年度以降の取組の検討	効果検証 H28モデル事業実施準備(モデル区との調整)	
③よこはま地域福祉フォーラムの開催(柱3-4-1)		市社協	市社協・区社協共同プロジェクト開催	企業との協働による定年退職者向け研修の提案	市民活動支援センター等との打ち合わせ(随時)	企業との協働実施								検証	
④企業・学校との連携事業(企業の地域貢献活動の充実に向けた支援等)(柱3-4-3、3-4-4、3-5-1)		市 市社協	◇企業と地域をつなぐマッチングサイトの活用(市社協)			◇中間支援組織職員向け研修(市社協)					◇企業向けセミナー①②(市社協)				
⑤地域施設間の連携(柱3-5-1)		市	市内5区(南、磯子、青葉、都筑、戸塚区)を中心に取組実施	各地域施設が持つ機能を有効に活用するための施設間が連携した取組の推進											
その他 普及・啓発(市民向け)		市 市社協	対象層を明確にした市民参加の働きかけに向けた効果的な普及啓発の取組の検討												